

2021年7月2日
株式会社東陽テクニカ

JANIS ブランド クライオスタット製品シリーズ 7 月販売開始 ～ 低温研究分野へ総合的なソリューションを提供 ～

株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役社長：高野 俊也、以下 東陽テクニカ)は、温度センサーや温度測定・制御機器の世界的なリーディングサプライヤーである Lake Shore Cryotronics Inc.(本社：米国オハイオ州、以下 レイクショア社)が取り扱う JANIS(以下 ジャニス)ブランドのクライオスタット製品シリーズの国内販売を 2021 年 7 月 1 日より開始いたしました。ジャニスは液体窒素(LN₂)、液体ヘリウム(LHe)や機械式冷凍機(無冷媒)の各種クライオスタット、超伝導マグネットシステム、プローブステーションや実験室向け冷却システムなどについて、60 年におよぶ製造販売の実績があるブランドです。このたびの国内展開により、레이크ショア社製品と合わせて低温研究分野へ総合的なソリューションを提供できるようになりました。

今後も東陽テクニカは、クライオスタットや各種低温測定機器を通して日本の基礎材料研究分野に貢献してまいります。



クライオスタット製品一例「ST シリーズ」

【 クライオスタットについて 】

クライオスタットは、用途に応じた形状の容器の内部を低温に制御するその容器および制御装置の総称です。アプリケーションとして一般には超電導等材料の電気特性評価用、光学特性用、顕微鏡観察用や超高真空用等があります。極低温タイプは最近では量子コンピューターの研究に活用されています。

主な冷却方式として、液体窒素(LN₂)や液体ヘリウム(LHe)といった冷媒を用いる場合と無冷媒(機械式冷凍機)の方法があります。温度範囲は方式や製品により異なりますが、上限は室温近辺から 800K(+527℃)、下限は 77K(-196.15℃)、4K(-269.15℃)、1.5K(-271.65℃)のタイプがあります。

【 製品概要 】

シリーズ名	種類	主な特徴
ST/STVP シリーズ	14 種類	<ul style="list-style-type: none"> ・冷媒フロー型クライオスタット（LHe または LN₂ を使用） ・幅広い温度範囲 ・高い温度安定性 ・さまざまな用途に適応したラインアップ （電気特性用・光学用 ST-100、コンパクト用 ST-300、 超高真空用 ST-400、顕微鏡用 ST-500） ・お客様の用途に応じた端子の追加等の設計変更可能
SVT シリーズ	6 種類	<ul style="list-style-type: none"> ・液溜型クライオスタット（LHe または LN₂ を使用） ・寒剤を効率良く使用可能 ・長時間の温度安定性 ・試料の交換が短時間に行えるトップローディング型 （SVT-400）
冷凍機型クライオスタット	27 種類	<ul style="list-style-type: none"> ・1.5K/4K/10K 冷凍機のラインアップ ・液体ヘリウムや液体窒素不要のため、低ランニングコスト ・振動を抑えた顕微鏡用を用意 ・冷却は熱伝導、ガス冷却および兼用方式 ・上限温度 800K 対応オプション

【 製品データ 】

- ・ 製 品 名 : JANIS クライオスタット
- ・ 販売開始日 : 2021 年 7 月 1 日
- ・ 製品ページ URL : https://www.toyo.co.jp/material/products/list/contents_type=3045

<Lake Shore Cryotronics, Inc.について>

レイクショア社は、Dr. John M. Swartz によって 1968 年に創業した会社です。温度センサーや温度測定・制御機器の世界的なリーディングサプライヤーとして多くの研究者に認知されています。近年は磁性、半導体特性評価システムのメーカーとしても業界トップを確立し、電子物性材料向けの測定機器においても知名度を上げています。2020 年には Janis Research 社のラボラトリ・クライオジェニクス事業を買収、クライオスタット、超電導マグネット、プローブステーション等の低温・環境制御装置と測定機器の両方のソリューションを提供できる世界有数の材料評価装置メーカーとして、科学の発展に貢献しています。

レイクショア社サイト : <https://www.lakeshore.com/>

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは 1953 年の創立以来、世界最先端の計測機器の輸入販売を行ってきました。現在の事業分野は、情報通信、自動車、エネルギー、EMC(電磁環境両立性)、海洋、ソフトウェア開発、ライフサイエンスなど多岐にわたり、独自の計測技術を搭載した自社製品の開発にも力を入れ、国内外へ事業を拡大しています。

「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、5G(第 5 世代移動通信システム)の普及や自動運転車開発なども支える最新ソリューションを提供することで、安全で環境にやさしい社会づくりと産業界の発展に貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト : <https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 経営企画部マーケティング課

TEL : 03-3279-0771(代表)

E-mail : marketing_pr@toyo.co.jp

製品サイト : https://www.toyo.co.jp/material/products/list/contents_type=3045

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。